

9月市議会

市民のいのち、くらしを守る施策を

国の問題も市政も「住民が主人公」で

日本共産党 福山市議団



式部昌子^{議員}代表質問

日本共産党福山市議団は、市民運動と力を合わせ、住民のみなさんの切実な願い実現のため、9月定例会市議会でも力をつくしました。そして、いくつかの貴重な成果も得られましたので、ご報告します。本会議の代表質問には今回、式部昌子議員が立ちました。

「長生きしてよかった」と思える社会へ

後期高齢者医療制度は廃止を

年齢で医療を差別し、高い保険料を年金から強制天引きする制度は廃止するしありません。

同じ年金収入で保険料が十三倍も違うケースを独自調査で明らかにし、制度上の矛盾を指摘。高齢者二人世帯の収入が同じ年間三百二十万円で、Aさん世帯は十五万七千円、Bさん世帯は一万二千円で

式部議員は、低所得者への市独自の負担軽減策の実施を求めました。

また、重度心身障害者が新制度への加入によらず医療費助成を受けられるようにするためには、「二億円で可能」と財源を示し、高齢障害者の医療費助成制度の拡充を求めました。



高齢者医療制度の改善を市に求める医療団体の人々と共産党市議団（中央奥4名）11月8日26日

国保

いつでも安心して医者さんにかかるように

資格証明書は発行中止を

福山市はこれまで、国保税が高すぎて払えなくなった人から保険証を取り上げ、資格証明書を発行してきました。資格証では医療費を窓口でいったん全額支払わなければいけません。

式部議員は、「医療を受ける権利を奪い、命にかかわる重大な問題」と指摘し、資格証明書の発行中止を求めました。

市長

「発行しない考えを基本に」

市長は今議会、国の基準による国保税の軽減措置を受けている世帯には資格証を発行しない方針を打ち出し、式部議員の質問に、「今後、資格証明書は発行しないという考えを基本に、…検討する」と答えました。



国保証取り上げの中止、国保税引き下げを市に求める市民団体のみなさんと党市議団（右側）＝9月10日

介護

高齢者と介護労働者の心通う制度に

保険料引き下げ・報酬引き上げを

介護現場では、労働者の過酷な労働条件と低賃金が深刻です。人材不足も社会問題となっています。来年4月には制度の「見直し」を迎え、介護報酬の引き上げが課題となっています。

しかし、今のまま介護報酬を引き上げると、保険料の引き上げに跳ね返るおそれがあります。そうしないためには、国が責任を持って介護保険制度への支出を増やすことが必要です。

式部議員は、県内で3番目に高い福山市の介護保険料を引き下げよう求めました。市長は「高齢者の生活実態に配慮した保険料となるよう検討する」と答弁しました。

来年度、保険料引き下げへ



土屋ともり議員

民生福祉委員会、予算委員会でも追求

土屋議員 「高齢者の生活実態に配慮した保険料」とは具体的にどのような内容か？

介護保険課長 基金を取り崩して繰り入れ、保険料はマイナース（引き下げ）となります。

保健福祉部長 介護報酬は、介護労働者の処遇改善の観点から、国は報酬アップを考えています。

日本共産党福山市議団
2008年9月市議会報告

2008年10月 日本共産党福山市議団の9月市議会での活動をご報告します。
発行●日本共産党福山市議団 〒720-0812 福山市霞町3丁目4-25-401
TEL・FAX 084(922)2815 ホームページアドレス <http://www.f-jcp.com/>

汚染米問題

背景に不要輸入米、日本農業の再生へ

農業振興、後継者を育成する施策を

汚染米問題が国民に不安と怒りを広げています。汚染米の8割は輸入米です。問題の根底に、コメ輸入自由化があります。

式部議員は、「国内で自給できる米の輸入は取りやめることを、政府に強く要請してください」と市に求めました。

世界的な食料不安のなか、日本の農業を再生することは急務です。

新規就農者への支援制度（月15万円を3年間支給）や、職場定年後の就農者支援制度を創設するなど、市独自の農業振興策の充実を求めました。



豪雨対策

突発的な豪雨でこの夏、三度の浸水被害が

排水機能の強化、河川改良を

福山市では7月から9月の3カ月間に3度の突発的な豪雨が発生し、床上・床下浸水、道路冠水、がけ崩れなど各地で被害が起きました。

日本共産党市議団は当日、被災地域の住民から被害の実態や要望を聞いて回りました。

式部議員は、災害時の迅速な対応、排水路の総点検・改善、町内会等と連携した水防資機材の常備・常設などを求めました。草戸町や野上町等の地域で

は、下水道が雨水と汚水をいっしょに処理する「合流式」のまゝになっており、冠水の原因ともなっています。分流式下水道への改善の進捗よく状況を質問し、促進を要望。

南蔵王町、春日町、東深津町、引野町など市東部地域では、この夏の豪雨で3度とも浸水冠水の被害が発生しました。手城川流域の拡幅、多目的遊水池の設置を緊急に行うことを求めました。



村井あけみ議員

水田が急速に宅地化されている市東部地域では浸水・冠水が起きやすくなっています。春日池や手城川の整備、掘り

下げなどを計画的にすすめるとともに、さらに多様な豪雨・

渇水対策が必要です。

市東部の対策を提案

事業所や家庭での雨水貯留槽の設置を促進する補助制度の創設、道路・駐車場の透水舗装化、多目的遊水池の確保など、雨水を蓄え活用していくまちづくりが求められます。予算委員会でも提案しました。



床下浸水した被災者から要望を聞く村井議員11月9日、春日町

中小業者支援

資材・原材料の高騰で悲鳴

支援策の拡充を

原料・資材高騰が中小業者の営業を圧迫。業者の切実な実態を示し、市独自の緊急支援策の実施を求めました。



高木たけし議員

市内では、昨年よりドライクリーニング溶剤は3割増の、当り207円、重油は7割増の117円など、あいつぐ高騰です。ある鉄鋼業者の方は「材料代が昨年の2割増になったが、お客には値上がり分を請求できない」と言われています。公共事業資材に対する単品スライドの適応対象拡大や、市独自の緊急助成、融資制度などを強く求めています。



中小業者の支援策拡充を求める福山民商の人たちと共産党市議団（左列奥）11月8日

少数学級

小学一年から中学一年まで

35人学級へ

市長

「小学校1年生から中学校1年生までの各学年へ、35人を基本に本市の実態に即した少数学級の段階的な導入を図って参ります。」（市長9月議会・総体説明）

党市議団は長年、少数学級の実現を求めてきました。式部議員は、年次計画の具体化について質問。

少数学級の実施は正規採用教職員で対応することを求めました。



少数学級の実現へ長年、父母、教育関係者らと運動、市に要望してきました。